ALWF 福祉とくらしのセミナー

山口達也の 過去、現在、未来



立ち止まることにも
人生には、きっと意味がある。

2026年
12月16日（水）
開場 17:45～
開演 18:15～19:40

グランシップ中ホール「大地」

静岡市駿河区東静岡２丁目3-1
☎054-203-5713
JR東静岡駅南口から徒歩約３分

入場無料 定員700名

※入場には入場整理券が必要です。

※当講演へのご参加には入場整理券が必要です。当日は、必ず入場整理券を持ってご来場ください。
※入場整理券は2026年11月9日（月）以降、静岡県労働金庫本店、静岡中央支店、清水支店の窓口で平日の9：00～15：00に配布いたします。
また、静岡市商業労政課（清水区役所内）でも配布いたします。定員になり次第終了となりますので予めご了承ください。
※気象状況、災害、感染症の拡大など、やむを得ない理由により中止する場合があります。

お問合せ
静岡地区労働者福祉協議会 ☎（054）269-4628：月・水・木 9：00～13：00
清水地区労働者福祉協議会 ☎（054）351-9222：火・水・金 9：30～13：00

ALWF 福祉とくらしのセミナー

山口達也の 過去、現在、未来

これを更生というのか、再生というのか。人によって解釈は違ってくると思うが、きっとどちらでもない。山口達也氏にとって、この活動は償いであり挑戦なのだ。日本のトップタレントとしての活動は、大きなプレッシャーとストレスが襲いかかる毎日だったことは容易に想像がつく。しかしながら、法律があり倫理観が求められる日本社会において、トップタレントであったとしても、それらから外れる行為は道理に反するだけでなく、多くの人々の信用を裏切ることに繋がってしまう。結局、慣れ親しんだ業界から身を引いた彼に残ったのは重度のアルコール依存症という病だった。この現実を受け止めたとき、平凡な私たちには想像もつかない、絶望や苦しみが襲いかかったに違いない。だが、彼は立ちこから一つ一つ、謝罪と自分を取り酒を一生断つ」。たったそれだけの師から「一生、治ることはない」とま症に蝕まれた状態では、身体と思ら苦痛だったに違いない。今日一日きたのなら明後日、明後日我慢できけない夜はない。聞き心地の良いと修行のような毎日を絶望的な乾きな毎日を続けている彼だからこそ、みの中で葛藤を抱く人たちの気持きを感じたまま、同じような絶望や希望や喜びを回復するための模索謝罪の気持ちと共に語られる言葉



株式会社山口達也　代表取締役
1972年1月生まれ
2018年5月、旧ジャニーズ事務所退所。
2022年「飲酒運転防止インストラクター資格」、「依存症予防教育アドバイザー資格」、「メンタル心理カウンセラー資格」を取得。
2023年3月「株式会社山口達也」を開設し、自分の経験を活かした「アルコール症」、「依存症全般」「50歳からの再チャレンジ」等の講演活動を実施又「企業向けの危機管理セミナー」も実施する

止まることを良しとしなかった。そ戻していくための行動に出る。「おことと思うかもしれない。でも、医で言われた重度のアルコール依存考をアルコールから遠ざけることす我慢できたのなら明日、明日我慢でたのなら…。止まない雨はない、明言葉で表現するのは容易いが、きっの中で味わってきたはずだ。そん人生の岐路に立ち、同じような苦しちがよくわかる。彼は身体と心の乾苦しみの中にいる人たちと、人生のを始めたのだ。胸中にある後悔やの一つ一つには、忖度のない当事者のリアルな思いが込められている。これまでに200回を超える講演会に登壇してこれたのは、彼の暮らしぶりや地道な活動に耳を傾けてくれる、生きる苦しみを共有してくれた人たちの心の声を、彼自身も共有できたからに他ならない。今回は、静岡市の会場に立つ。この登壇も模索と挑戦を続ける一人の人間「山口達也」の人生という道の上にある。だからこそ、会場に集まった人たちへの感謝と、応援する思いが込もる。登壇する彼の声が、視線が、会場に集まった私たちに届き、新しい希望や喜びのきっかけとなっていくことを。この希望や喜びに背中を押され、未来へ続く彼の模索と挑戦がさらに力強く前に前に進んでいくことを。会場で証人の一人となったあなたも、きっと願わずにはいられないはずだ。

主　催　（公財）静岡県労働者福祉基金協会／静岡地域労働者福祉協議会
静岡地区労働者福祉協議会／清水地区労働者福祉協議会

後　援　静岡市／（一社）静岡県労働者福祉協議会
静岡県労働金庫／こくみん共済 coop 静岡推進本部